

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【公表番号】特表2009-520115(P2009-520115A)

【公表日】平成21年5月21日 (2009.5.21)

【年通号数】公開・登録公報2009-020

【出願番号】特願2008-545501(P2008-545501)

【国際特許分類】

D 0 6 N 3/14 (2006.01)

D 0 4 H 1/46 (2006.01)

D 0 4 H 1/48 (2006.01)

D 0 6 M 15/564 (2006.01)

D 0 3 D 1/00 (2006.01)

D 0 6 M 101/18 (2006.01)

D 0 6 M 101/32 (2006.01)

D 0 6 M 101/34 (2006.01)

D 0 6 M 101/38 (2006.01)

【F I】

D 0 6 N 3/14 D A A

D 0 4 H 1/46 C

D 0 4 H 1/48 C

D 0 6 M 15/564

D 0 3 D 1/00 Z

D 0 6 M 101:18

D 0 6 M 101:32

D 0 6 M 101:34

D 0 6 M 101:38

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月17日 (2010.11.17)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

太さが 0.3 デニール以下の極細短繊維が互いに絡み合っている不織布と、前記不織布内に位置し、且つ前記不織布の極細短繊維に絡み合っており、経糸密度及び緯糸密度が 40 ~ 70 本 / インチであり、8 kgf の荷重下で測定した静荷重伸び率が 10 ~ 30 % である織物または編物とからなり、密度が 0.200 ~ 0.250 g / cm² である複合シートを含み、前記織物または編物が、ポリエチレンテレフタレート系、ポリトリメチレンテレフタレート系、ポリアミド系、ポリウレタン系、ポリエチレン系及びポリプロピレン系からなる群から選択された 1 種または 2 種以上の原糸で構成され、前記複合シート内にはポリウレタンが充填され、35 ~ 60 kgf / 50 mm の縦方向及び横方向の引長強度と、8 ~ 25 % の縦方向及び横方向の静荷重伸び率を有することを特徴とする強度及び伸び率特性に優れた車両用または家具用のスエード調人工皮革。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 0

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 0 】

具体的に、8 k g f の荷重下で測定した静荷重伸び率が10～30%である織物または編物を準備し、溶解または分割後の太さが0.3デニール以下になる極細短繊維ウェブを準備した後、ニードルパンチング方法によって織物または編物層と極細糸ウェブ層を接合させる。ニードルは織物または編物層が破損しないようにするため、バーブの数が一つ以下のニードルを使用し、バーブの角度を調整して織物または編物との接触確率を最小化する。接合のために必要なパンチング密度は1 c m ² の単位面積当たり1500～3000回であることが好ましい。織物または編物が接合された状態における複合シートの密度は0.200～0.250 g / c m ² 程度になるようにする。